

第14回福岡市障がい児・者美術展の表彰式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、入賞された皆さま、本当におめでとうございます。

この美術展も今回で14回目を迎え、321点もの応募があり、障がいのある方のアート活動への意欲を高める機会として、また発表の場として定着いたしました。

皆さまの心を込めた作品は、美術展に来場された多くの市民も感動を覚えるとともに、作品を通じて障がいのある方の無限の可能性に触れ、障がいに対する理解を深められたものと考えております。

また、本日の入賞を励みとして、今後も皆さまが引き続きアート活動に取り組まれることを期待いたしております。

福岡市は「みんながやさしい、みんなにやさしい『ユニバーサル都市・福岡』」の実現を目指しており、年齢、性別や障がいの有無などにかかわらず、全ての人にとってさらに暮らしやすいまちになるよう、取り組んでおります。

今後とも障がいのある方が、作品を創造する喜びを通して、より一層の社会参加が進んでいくことを願い、本美術展をはじめとする様々なアート活動への支援を積極的に進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、美術展の開催に当たり、実行委員をはじめとする関係者の皆さまのご尽力に深く敬意を表するとともに、アート活動に携わる皆さまの今後ますますのご活躍と、社会の中での障がいに対する理解が一層深まりますことを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

令和4年12月25日

福岡市 福祉局 障がい者部長 高木 三郎